

令和7年度第3回丹波市立隣保館運営委員会 議事録

日 時：令和8年2月20日(金) [開会] 午前9時30分 [閉会] 午前11時
場 所：丹波市立氷上文化センター 研修室

出席委員：山本寿朗（委員長）、森奥和代（副委員長）、永井登（委員）、常石孝子（委員）、細田勉（委員）、堀河眞作子（委員）、麻田剛（委員）

欠席委員：村上豊（委員）、北村久美子（委員）、藤森留里子（委員）

事務局：谷水 仁（まちづくり部長）、早形繁（人権啓発センター所長）、山本昌彦（隣保館係長）、藤原泰志（氷上文化センター館長）、八尾滋樹（七日市会館館長）、柳川瀬武彦（相談指導員）

傍 聴 人：なし

議題一覧

1. 開会
2. あいさつ
3. 委嘱書の交付 令和8年1月 改選委員
4. 議事(1)令和7年度隣保館事業実施状況について
(2)令和8年度隣保館事業実施計画の概要について
(3)その他
5. 閉会

議題1：開会

概要

- 委員10名中7名出席で、会議成立を確認した。

議題2：委員長挨拶

概要

- 山本委員長挨拶。

議題3：委嘱書交付の交付 令和8年1月 改選委員

概要

- 丹波市民生委員児童委員連合会選出の松井宣子委員の後任として堀河眞作子委員に委嘱書が交付された。

議題4：議事(1)令和7年度隣保館事業実施状況について

概要

- 令和7年度の2/2現在の相談事業は実相談者15人、延べ相談97人で前年度より増加し、継続相談や出張相談2回の状況が報告された。
- 人権歴史講座・人権セミナーやDVD貸出、啓発・地域交流事業、こども・高齢者の居場所づくりの実施状況が説明された。
- 貸館状況では氷上文化センター有料利用が健康体操グループの施設変更等により減少するなど、6年度との比較が報告された。
- 委員から就職相談の周知不足や、生活困窮者支援等に関する多機関連携・相談

結果共有・出向く支援体制強化について多数の提案があった。

- 社会福祉課等の現状の相談窓口・周知方法・連携体制を確認し、次回までに整理した資料を報告する。
- 隣保館係・人権啓発センターとして、他機関との連携や地域の輪づくりを念頭に事業の進め方を検討する。
- 就職相談を含む相談内容について、相談指導員が必要に応じてハローワークと連携する。

議題 4：議事(2)令和 8 年度隣保館事業実施計画の概要について

概要

- 令和 8 年度も常設・出張・夜間休日相談体制を、令和 6 年度からと同様に継続する方針が説明された。
- 啓発広報では令和 8 年度に多文化共生テーマのパネル展と人権標語展示、人権セミナー等を実施予定である。
- 地域交流事業で若年層向け教室やこども・高齢者の居場所づくり、貸館事業の円滑な運営方針が説明された。
- こども食堂の必要性や丹波市での実施状況について質問があり、社会福祉協議会や自治会等による取組事例が共有された。

議題 4：議事(3)その他

概要

- 本日の宿題事項を事務局で整理し、次回委員会で報告する。
- 次回委員会では令和 7 年度事業実績と令和 8 年度事業の実施状況を報告予定で、7 月頃開催見込みと共有された。
- 若者向け地域交流事業の具体案として、編み物講座、餅つき体験、婚活イベント等のアイデアが意見として出された。
- 世代間交流や防災学習（出前講座、VR 体験、防災食づくり等。防災担当と連携し、VR 等を活用した防災講座や災害食講座の実施方法。）を隣保事業や地域事業と連携して継続的に行う必要性が指摘された。
- 令和 8 年度地域交流事業について、若者向けの具体的な企画案を引き続き内部で検討する。

5. 閉会

概要

- 森奥副委員長挨拶。